

# 第118期(平成26年3月期) 定時株主総会

平成26年6月25日  
グンゼ株式会社

# 第118期定時株主総会

## 議事次第（開始時刻：午後1時）

### <報告事項>

1. 第118期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)  
事業報告、連結計算書類および計算書類の内容報告の件
2. 会計監査人および監査役会の  
第118期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)  
連結計算書類監査結果報告の件

### <決議事項>

- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 取締役10名選任の件
- 第3号議案 監査役1名選任の件
- 第4号議案 補欠監査役1名選任の件
- 第5号議案 当社株式の大量買付行為に対する  
対処方針(買収防衛策)継続の件



# 第118期定時株主総会

## 「報告事項」

---

### 事業報告

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

## ・ 事業の経過及びその成果

# -1. 第118期(平成25年度) 連結業績

## 連結業績

(単位:億円 単位未満切捨て)

	第118期 (H25年度)	第117期 (H24年度)	対前期		利益率(%)	
			増減額	増減率 (%)	第118期 (H25年度)	第117期 (H24年度)
売上高	1,424	1,323	100	7.6	-	-
営業利益	43	17	26	155.8	3.1	1.3
経常利益	50	23	27	117.3	3.6	1.8
当期純損益	25	11	36	-	1.8	-



## ・事業セグメント別の概況

---

お手許の招集ご通知 **2頁から3頁**をご参照

## -1. <機能ソリューション事業1>

売上高 : 582億円 (前期比 17.6%増)  
営業利益 : 47億円 (前期比 68.7%増)

### プラスチック

原材料価格の高止まりのなか、平板収縮フィルム、防曇フィルムが堅調に推移したほか、消費増税前の駆け込み需要等で包装資材が順調に推移

- 飲料分野
  - 販売は順調に推移したものの原材料価格の影響大
- 食品分野
  - 原材料の高騰に伴う価格転嫁を実施し、堅調に推移
- 生活用品
  - ハイブリッド商品の取扱い拡大
- 工業用途
  - 消費増税前の駆け込み需要の影響大



飲料向け平板収縮フィルム

### エンジニアリング プラスチック

OA機器用部材での需要が下げ止まり傾向、半導体関連部材も伸長

- カラー機用中間転写ベルト
  - 印刷抑制による消耗部材需要の減少
- OAロール用フッ素樹脂チューブ
  - ロールメーカー間の競争激化に対する迅速な対応実施
- 一般産業用資材
  - 品質、デリバリー対応力強化と用途拡大



半導体製造用フィルター資材

## -2. <機能ソリューション事業2>

### 電子部品

価格競争が激化するなか、パソコン向け透過型静電容量タッチパネルやスマートフォン向け半製品・フィルムが堅調に推移

- 透過型静電容量タッチパネル
  - 一昨年度後半からの受注増により好調に推移
- 半製品
  - 中国系タッチパネルメーカーへの拡販
- フィルム外販
  - 更なる拡販に向けて中国・韓国での販売体制確立



パソコン向け透過型静電容量タッチパネル

### メディカル

欧州・北米・中国での販売が順調に推移、  
米国市場向けに大手医療機器メーカーと提携開始

- 国内
  - 縫合補強材および医療用ストッキングは伸長
  - 骨接合材・人工皮膚は市場競争激化により苦戦
- 海外
  - 米国大手医療機器メーカー(コヴィディエン社)と提携開始(2014年1月)
  - 欧州・中国での販売は順調に推移



縫合補強材を組み合わせた手術用自動縫合器

## -3. <アパレル事業>

売上高 : 704億円 (前期比 0.7%増)  
営業利益: 14億円 (前期比 0.5%増)

消費増税による駆け込み需要が発生したものの、円安や海外労務費高騰などによるコストアップ要因もあり、引き続き、厳しい経営環境

### インナーウェア

- 事業構造改革に取り組み、原価改善や固定費削減、不採算店舗からの撤退などの効果で収益性向上
- 紳士ベーシック商品“新生YG”の発売
- 婦人ミドルエイジ向け“KIREILABO”の拡大強化



新生YG

### レッグウェア

- プレーンストッキングや新トレンド「レギンスパンツ」が好調に推移
- 円安による採算性の悪化
- インドネシア生産基盤の拡充  
(合併会社P.T.RICKY GUNZE操業開始)



レギンスパンツ(レギパン)

## -4. <ライフクリエイト事業>

売上高 : 144億円 (前期比 4.5%増)  
 営業利益: 13億円 (前期比 30.9%増)

### ライフクリエイト事業

Gunze タウンセンターつかしん(にしまち)のリニューアル効果や消費増税前の駆け込み需要もあり、堅調に推移

#### 【不動産関連分野】

- 「つかしん(にしまち)」のリニューアル効果等により、引き続き、好調に推移
- 太陽光発電開始(発電容量 4.5MW)
  - 全国3ヶ所(宇都宮、豊岡、福島)による発電開始
- 中国での環境ビジネス営業開始
  - 郡是(上海)節能設備貿易有限公司

#### 【スポーツクラブ分野】

- 新規会員獲得キャンペーン等により会員数を伸ばし、堅調に推移

#### 【緑化分野】

- エリア戦略強化により、地域に密着した樹木販売が好調に推移



■太陽光発電(福島県本宮市)



Gunzeスポーツクラブ(日曜ランの様子)

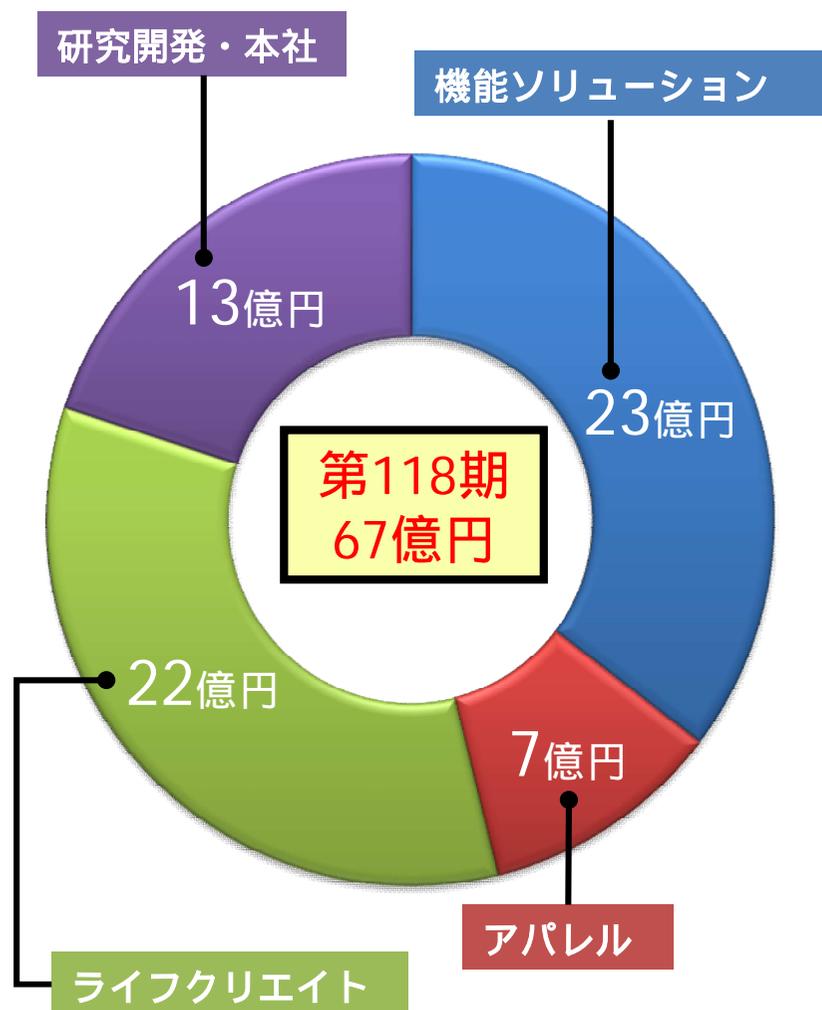
## -5. 第118期(平成25年度)セグメント別の業績

### セグメント別の対前期比較

(単位:億円 単位未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	第118期 (H25年度)	第117期 (H24年度)	増減	第118期 (H25年度)	第117期 (H24年度)	増減
機能ソリューション	582	495	86	47	28	19
アパレル	704	699	4	14	13	0
ライフクリエイト	144	138	6	13	10	3
全社・消去	7	10	2	31	35	4
合計	1,424	1,323	100	43	17	26

## -6. 設備投資の状況



### 機能ソリューション事業 (23億円)

- 電子部品生産設備
- プラスチックフィルム生産設備

### アパレル事業 (7億円)

- 海外生産設備他

### ライフクリエイト事業 (22億円)

- 太陽光発電設備 (18億円) 他

### 研究開発・本社部門 (13億円)

- 大阪地区社宅建替え (7億円) 他



・ 業務の適正を確保するための  
体制の整備に関する事項

お手許の招集ご通知13頁から16頁をご参照

・ 会社の支配に関する基本方針

お手許の招集ご通知16頁から17頁をご参照



## ・ 計算書類 (連結)

---

〔 貸借対照表・損益計算書  
キャッシュ・フロー計算書及び  
株主資本等変動計算書 〕

お手許の招集ご通知18頁から27頁をご参照

# -1. 貸借対照表(資産の部)

(単位:億円 単位未満切捨て)

科目	第118期 (H25年度)	第117期 (H24年度)	増減
流動資産	735	734	0
固定資産	930	898	31
有形固定資産	687	653	34
無形固定資産	14	16	2
投資その他の資産	228	228	0
資産合計	1,665	1,633	32

## 流動資産

**735億円** (前期比 微増)

受取手形及び売掛金	前期比	15億円
たな卸資産	前期比	14億円

## 有形固定資産

**687億円** (前期比34億円増加)

建物及び構築物	前期比	5億円
機械装置及び運搬具	前期比	15億円
建設仮勘定	前期比	11億円

## -2. 貸借対照表(負債の部、純資産の部)

(単位:億円 単位未満切捨て)

科目		第118期 (H25年度)	第117期 (H24年度)	増減
負債の部	流動負債	325	360	35
	固定負債	198	184	13
	負債合計	523	545	22
総資産の部	資本金	260	260	-
	資本剰余金	140	140	0
	利益剰余金	777	767	10
	自己株式	76	76	0
	その他の包括利益累計額等	38	4	43
	純資産合計	1,141	1,087	54
負債及び純資産合計		1,665	1,633	32

### 負債合計

523億円 (前期比22億円減少)

支払手形及び買掛金	33億円
長・短期借入金(CP含む)	59億円

### 純資産合計

1,141億円 (前期比54億円増加)

当期純利益	25億円
為替換算調整勘定	21億円
退職給付に係る調整累計額	12億円
配当金の支払(117期)	14億円

## -3. 損益計算書

(単位:億円 単位未満切捨て)

	第118期 (H25年度)	第117期 (H24年度)	増減
売上高	1,424	1,323	100
売上総利益	354	333	20
販管費	310	316	6
営業利益	43	17	26
営業外損益	6	6	0
経常利益	50	23	27
特別損益	4	36	32
税引前当期純損益	46	13	59
法人税等及び 少数株主損益	21	1	23
当期純損益	25	11	36

### 特別損益の内訳

(単位:億円 単位未満切捨て)

	第118期 (H25年度)	第117期 (H24年度)	増減	
特別利益	退職給付信託設定益	-	19	19
	固定資産売却益	14	0	13
	その他	0	0	0
	合計	15	21	6
特別損失	退職給付費用 数理差異償却額	8	26	17
	減損損失	-	26	26
	事業構造改善費用	6	-	6
	その他	3	5	1
	合計	19	57	38

## -4. キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円 単位未満切捨て)

科目	第118期 (H25年度)	第117期 (H24年度)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	137	123	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	54	75	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	83	51	32

### 営業活動による CF

137億円

< 主な内訳 >

税引前当期純利益	46億円
減価償却費	62億円
たな卸資産の減少	20億円

### 投資活動による CF

54億円

< 主な内訳 >

固定資産の取得	67億円
固定資産の売却	15億円

### 財務活動による CF

83億円

< 主な内訳 >

CP含む借入金減少	72億円
配当金の支払	14億円

## -5. 株主資本等変動計算書

項目	株主資本 (単位:億円 単位未満切捨て)			
	資本金および 資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本計
当 期 首 残 高	401	767	△ 76	1,092
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当		△ 14		△ 14
当期純利益		25		25
自己株式の取得・処分	0		0	0
株主資本以外の項目の変動額(純額)				
連結会計年度中の変動額合計	0	10	0	10
当 期 末 残 高	401	777	△ 76	1,102

項目	その他の包括 利益累計額	新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				14
当期純利益				25
自己株式の取得・処分				0
株主資本以外の項目の変動額(純額)	37	0	6	43
連結会計年度中の変動額合計	37	0	6	54
当 期 末 残 高	20	3	15	1,141

## -6. 主要財務・経営指標(連結)

	単位	第118期 (H25年度)	第117期 (H24年度)	増減
売上高営業利益率	%	3.1	1.3	1.8
自己資本比率	%	67.5	65.9	1.6
1株当たり純資産	円	586	561	25
ROA:総資産営業利益率	%	2.7	1.0	1.7
ROE:自己資本当期純利益率	%	2.3	1.1	3.4

ROA : 営業利益 ÷ 総資産

ROE : 当期純利益 ÷ 株主資本



## ・ 計算書類 ( 単体 )

---

〔 貸借対照表・損益計算書及び  
株主資本等変動計算書 〕

お手許の招集ご通知28頁から34頁をご参照



## ・ 企業集団が対処すべき課題

---

お手許の招集ご通知4頁をご参照

## -1. 当社グループを取り巻く経営環境

### 国内経済見通し

- 輸出産業を中心に徐々に明るい兆し
- 政府の景気対策の効果などによる経済成長見込み

### リスク要因

- 消費増税に伴う駆け込み需要の反動
- 家計の実質所得減少による個人消費の低迷
- 円安による輸入商品・原材料価格などの高騰
- 海外労務費の高騰

## -2. 新中期経営計画「CAN 20」の概要

名 称

「CAN 20」(キャントゥエンティ)

キーコンセプト

「集中と結集」(Focus & Concentration)

期 間

2014年度(第119期)～2020年度(125期)の7ヵ年

- ・ 第1フェーズ(2014年度～2016年度)
- ・ 第2フェーズ(2017年度～2020年度)

2020年経営ビジョン

グンゼが持つ強みをさらに強化し、グンゼにしかできない”こちよさ”をお客様に提供するグローバル企業として社会に貢献する。

2020年経営目標

人々のクオリティオブライフ(QOL)の向上に貢献する健康・医療関連分野を成長の核とするとともに、「集中と結集」によりそれぞれの分野で業界オンリーワンの地位を確立する。

## -3. 新中期経営計画「CAN 20」の基本戦略

### 1 ポートフォリオ戦略

～ SBU戦略による選択と集中～

- 各事業部門を戦略的ビジネスユニット（SBU）に区分
- 各SBUを市場の魅力度・コアコンピタンスの強さを軸に評価し、戦略投資区分（5区分）に分類

### 2 CFAプロジェクト

～ 新規事業戦略～

CFA：クロスファンクショナルアプローチ

- 既存技術や設備を活用し新規事業を効率的に創出
  - 新規事業の創造
  - 健康・医療事業拡大

### 3 経営基盤強化

～ 機能戦略～

- コア技術力の強化
- グローバル対応力の強化
- コーポレートブランド価値向上など無形資産の強化

## -4. 新中期経営計画「CAN 20」の事業戦略

### 機能ソリューション事業

#### ■ プラスチック

- 米国事業など収縮フィルムの海外強化
- ナイロンフィルムの収益改善

#### ■ エンジニアリングプラスチック

- 半導体関連など繊維技術活用製品の拡大

#### ■ 電子部品

- 光学フィルムを含めたフィルム販売事業の早急な事業基盤構築と拡大

#### ■ メディカル

- 縫合補強材の米国進出並びに中国での生産基盤の確立

## -5. 新中期経営計画「CAN 20」の事業戦略

### ア パ レ ル 事 業

#### ■ インナーウェア分野

- 基幹ブランドへの集中によるブランド力の強化
- シニアカテゴリー・介護商品の強化による健康関連商品の拡販
- 海外・Web・ドラッグルートなどの成長チャネル戦略強化による新規販路の開拓
- 事業構造改革の継続による収益力の強化

#### ■ レッグウェア分野

- 『SABRINA』リニューアル等定番商品の活性によるNBブランドの強化
- メディカル関連商品の拡販等、健康関連商品の拡販
- インドネシアでのソックス生産能力拡充

## -6. 新中期経営計画「CAN 20」の事業戦略

### ライフクリエイイト事業

#### ■ 不動産関連分野

- 遊休資産を活用した不動産分野の収益力の向上
- 中国での事業基盤確立などによる環境ビジネスの拡大

#### ■ スポーツクラブ分野

- 海外含む積極的な多店舗展開による売上の拡大
- 若年層の獲得や顧客満足度向上のための取り組み実施による会員数の増加

## -7. 連結業績目標

### 第1フェーズ(第119期～第121期)計画(連結)

(単位:億円 単位未満切捨て)

項目	第121期 (H28年度)	対118期		第119期 (H26年度)	対118期		第118期 (H25年度)
		増減額	増減率 (%)		増減額	増減率 (%)	
売上高	1,550	126	8.8	1,440	15	1.1	1,424
営業利益	65	22	51.2	45	1	2.9	43
経常利益	64	14	28.0	43	7	15.0	50
当期純利益	38	13	52.0	21	4	16.3	25

業績予想は、現時点における事業環境等に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

第119期(平成27年3月期)配当は、1株当たり**7円50銭**を  
予定しております。



## 第118期定時株主総会

# 「決議事項」

お手許の招集ご通知39頁から57頁をご参照

## 第1号議案（招集ご通知39頁）

### 剰余金の処分の件

剰余金の処分につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

#### < 期末配当に関する事項 >

連結配当性向50%程度を目安に、中期的な業績見通しに基づき安定的・継続的な利益還元を実施する方針のもと、下記の通りとさせていただきます。

#### (1) 配当財産の種類

金銭といたします。

#### (2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき 金7円50銭 総額1,437,172,545円

#### (3) 剰余金の配当が効力を生じる日

平成26年6月26日

## 第2号議案（招集ご通知40～42頁）

### 取締役10名選任の件

【取締役候補者】

候補者 番号	氏名	候補者 番号	氏名
1	児玉 和	6	廣地 厚
2	服部 和徳	7	古川 知己
3	天野 勝介	8	赤瀬 康宏
4	白井 文	9	岡 修也
5	鈴木 昌和	10	佐口 敏康

(注1) 印の岡 修也、佐口 敏康の両氏は、新任取締役の候補者です。

(注2) 天野 勝介、白井 文の両氏は、社外取締役の候補者です。

## 第3号議案（招集ご通知43頁）

### 監査役1名選任の件

#### 【監査役候補者】

候補者氏名

浜村 眞

## 第4号議案（招集ご通知44頁）

### 補欠監査役1名選任の件

#### 【補欠監査役候補者】

候補者氏名

三木秀夫

(注) 三木 秀夫 氏は、社外監査役の補欠監査役候補者であります。

## 第5号議案 (招集ご通知44～57頁)

### 当社株式の大量買付行為に対する対処方針(買収防衛策)継続の件

当社は、平成18年6月29日開催の第110期定時株主総会において、「当社株式大量買付行為に対する対処方針」を導入し、第112期定時株主総会並びに第115期定時株主総会において、これを一部改定した上で、継続いたしました。有効期限が本日の定時株主総会終結の時までとしていることから、当年5月13日開催の取締役会において、現行の方針を一部改定した上で更新し、新中期経営計画「CAN20」計画第1フェーズ終了後最初の定時株主総会終結の時までを有効期限として継続することを決議いたしました。

なお、本方針の改定及び継続は社外取締役2名を含む取締役10名全員一致により決議され、社外監査役2名を含む監査役4名も本方針が適正に運用されることを条件として全員が賛成する旨の意見を述べております。

ただし、本方針の重要性に鑑み、株主の皆様にご承認いただくことを前提としており、株主の皆様のご承認をいただけなかった場合には、その時点で自動的に廃止されることとなります。

## 第5号議案 (招集ご通知44～57頁)

第115期総会にてご承認いただいた買収防衛策に対して、スキーム自体の変更はしてありませんが、今回の改定では、

新株予約権プランが発動された際に、大量買付者へ  
金銭的補償をしないこと

を明確化するとともに

新株予約権プラン発動による新株予約権無償割当の  
権利確定以降においても新株予約権プランの中止が適当と  
特別委員会が判断した際に、新株予約権の無償買取により  
新株予約権プランを中止する場合があること

を追記しております

## 第5号議案 (招集ご通知44～57頁)

### 当社方針の基本スキーム

1. 本方針は、株主総会決議で導入されていること
2. 取締役会は、特別委員会による勧告に原則、従うこと

【特別委員会】招集ご通知56頁～57頁をご参照

- 社外取締役：天野 勝介、白井 文
- 社外監査役：亀徳 忠正、井上 圭吾

3. 客観的発動要件を予め定め、それ以外は  
対抗措置発動をしないこと
4. 対抗措置は新株予約権プランに限定していること